

いのりのかたち

古代から近世の
信仰の跡を訪ねて

～田端・大曲 地区～



一般社団法人寒川町観光協会

●田端地区から富士を望む●

くるまじぞう
①車地藏(一之宮地区)



※供車に乗った木像の地藏尊を祀ったお堂です。
この地藏堂は、小田原城主大森実頼の孫、菊地泰次が慶長2年(1597)3月に建立し、安産子育て地藏を祭ったと伝えられています。 ※大八車のようなもの

まんぶじ
②万部寺(日蓮宗)



開山は日桂上人で開基は彦兵衛です。日桂上人は明暦2年(1656)、64歳の時に始めた法華経1万部読経修業を16年余りかけて成就させました。2代の日勇上人も先代の遺業をつぎ、1万部読経修業を成就させ、元禄8年(1695)に身延山から『万部寺』という寺号が授与されました。

きふねおおかみ
③貴船大神



田端の鎮守。江戸時代は貴船大明神、貴船宮、貴船社とも呼ばれ医王院が別当として支配していました。明治以降は貴船大神と称しています。
万次2年(1659)と延宝7年(1679)に再興された貴船大神神宝殿の棟札が残っています。

しょうおうじ
④生往寺(浄土宗)



開山は文賢で開基は菊地泰次です。菊地泰次はかつての小田原城主、大森氏の末裔でした。寺伝等によると豊臣秀吉による小田原攻めの際、田端において窮地に陥った泰次は松の巨木の陰でその危難を逃れ、この奇縁により松の脇に建立したのが生往寺であるとされています。

いせこうじょうじゆ ひ
⑤伊勢講成就の碑



伊勢講とは伊勢参宮を目的とした講で、江戸時代以前から多くの人々に広く信仰されていました。
この碑の側面に「左なんご道」、「右馬入みち」と彫られており、道標でもあったことがうかがい知れます。

いおういん
⑥医王院(真言宗)



御本尊は薬師如来坐像です。「医王院縁起」によれば、承和元年(834)、摂津の僧、龍海による開山とされていますが、「新編相模国風土記稿」では永禄3年(1560)に再興した伝説を中興とされています。

しもおおまがり
⑦下大曲神社跡



江戸時代は八幡社と呼ばれており、明治に入ると村内の神社を合祀して下大曲神社となりました。下大曲神社の庚申塔は神奈川県的重要文化財に指定されており、現在は寒川神社の方徳資料館に展示されています。平成22年(2010)に大曲神社(旧十二神社)に合祀されました。

おおまがり
⑧大曲神社(旧十二神社)



明治維新の際、十二天社を十二神社と改称しました。明治42年荒廃神社併合が国で決められた時、神社を存続させるためにはやむを得ないと反対を押し切って神輿を売却し、神社を存続させた石塚善太郎氏の功績は今も語り継がれています。平成22年、下大曲神社と合祀され、大曲神社となりました。

しちどうからんあとひ かんが
⑨七堂伽藍跡碑・下寺尾官衙遺跡群(茅ヶ崎市)



この付近に大寺院があったと地元住民らが昭和32年(1957)に建立した碑です。その後昭和53年(1978)の調査で古代寺院跡と判明し、七堂伽藍跡を含む下寺尾官衙遺跡群は平成27年(2015)に国史跡に指定されました。町内大曲五反田遺跡はこの遺跡の運河の一部で、人形(ひとがた)という木製のまじない道具が発見され、祭祀の跡とされています。

発行 一般社団法人寒川町観光協会
住所 〒253-0105 神奈川県高座郡寒川町岡田1-2-3 さがみビル1A
電話 0467-75-9051
Fax 0467-84-7400
E-mail info@samukawa-kankou.jp
ウェブサイト [寒川町観光協会](http://samukawa-kankou.jp) で 検索






左記QRコードからもウェブサイトをご覧いただけます

- 田端・大曲コース
約6.8km 高低差約8m
- 寒川駅南口 ↓ 0.6km
 - ①車地藏 ↓ 1.4km
 - ②万部寺 ↓ 0.2km
 - ③貴船大神 ↓ 0.3km
 - ④生往寺 ↓ 0.2km
 - ⑤伊勢講成就の碑 ↓ 0.3km
 - ⑥医王院 ↓ 1.2km
 - ⑦下大曲神社跡 ↓ 0.8km
 - ⑧大曲神社 ↓ 0.8km
 - ⑨七堂伽藍跡碑
下寺尾官衙遺跡群 ↓ 1km
 - 寒川駅北口



おやまとうろう
大山灯笼[↑]を探そう
大山の夏山(7月27日~8月17日)の期間に灯笼が田端地区の3カ所に建てられます。

神之倉 田端宿 田端東

地蔵尊



舟型光背地藏尊(右)
地藏尊菩薩立像(中央)
光明真言供養塔(左)



咲夢くん
花笑ちゃん



QRコードからスマホ等でもコースをご覧いただけます